

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和7年5月15日

事業者名: F&F合同会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	海外向け輸出業務において、商品廃棄の削減を目的にフードロス削減に配慮した仕入れ調整と在庫管理を実施。また、輸送時の環境負荷を軽減するため、可能な限り急送を避けて航空便から船便への切替を進めており、CO2排出削減に努めている。	⑫つくる責任 つかう責任, ⑬気候変動に具体的な対策を, ⑭海の豊かさを守ろう	商品の在庫調整および返品率の見直しを行った結果、賞味期限切れによる廃棄率は3%未満に抑制。急送を避けた物流体制への移行も進め、航空便の利用は全体の5%程度にまで削減済。	指標	食品の廃棄率 航空便と船便の輸送割合
				目標	2030年度までに、賞味期限切れによる食品廃棄量を2024年度比で50%以上削減することを目指す。 また、航空便の利用は緊急時を除き原則制限し、今後も全体輸送の5%以内を維持する。
社会	日本とフィリピンに拠点を持つグループ会社の連携を活かし、女性代表同士のリーダーシップのもと、ジェンダー平等や地域雇用の促進に配慮した経営を行っている。特に女性の意思決定参加と多様な働き方の機会提供に取り組む。	⑤ジェンダー平等を実現しよう, ⑧働きがいも経済成長も, ⑩人や国の不平等をなくそう	女性管理職比率（グループ全体）が100%となっており、意思決定の場における男女平等の推進に貢献しています。加えて、採用においても性別による制限は一切設けておらず、多様な人材の活用を実践しています。	指標	女性管理職比率、女性役員の登用数、国際拠点間での雇用維持率
				目標	2027年までに女性管理職比率80%以上を維持し、グループ間での安定雇用と教育機会の継続的提供を図る。
経済	日本各地の中小企業と連携し、地域性のある食品や日用品をOEM開発も含めてフィリピンへ輸出しています。現地の流通パートナーとのネットワークを活かし、継続的な販路を確保することで、日本の製造業者の安定した海外展開を支援しています。今後は商品ジャンルの拡充と共に、輸出先国・拠点の多角化も視野に入れ、持続可能な国際取引の基盤づくりに取り組みます。	⑧働きがいも経済成長も, ⑨産業と技術革新の基盤をつくろう, ⑰パートナーシップで目標を達成しよう	日本各地の企業と連携し、OEM商品を含む食品等をフィリピンへ継続輸出。販売先を確保し、日本企業の売上促進を支える体制を整備。	指標	年間継続取引社数／OEM製品の開発件数／輸出実績件数
				目標	2028年度までに継続取引社数を10社以上に、OEM製品の開発を年間3件、フィリピン向け輸出件数を年間30件以上に増加させる。
ガバナンス	チェック				
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 ＜具体的な内容を記載＞ SDGsへの取組方針は姉妹会社を含む関係者と定期的に共有しており、活動の進捗は業務報告や社内の会話で確認・改善しています。今後、担当者の明確化と仕組みの整備を予定しています。			
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 現在は社内掲示により周知、今後はホームページ掲載予定			